



もうETC(料金收受)だけじゃない

ETC 2.0

広がる運転支援サービス

「ETC 2.0」では、渋滞回避支援や安全運転支援、自動料金收受などのサービスが受けられます。さらに今後、道路交通情報や走行履歴・経路情報などのビッグデータを活用して、さまざまな新しいサービスが導入される予定です。

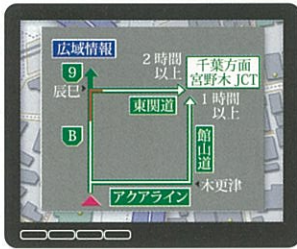
情報提供サービス^{※1}

※1 これまでITSスポットサービスと呼ばれていたサービス

渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに配信
前方の渋滞状況も静止画でお知らせ

簡易図形



静止画



安全運転支援

落下物や渋滞末尾情報、前方の静止画など
危険事象に関する情報を提供

簡易図形



この先渋滞、追突注意

静止画



雪のため注意して走行してください

料金收受システムから
運転支援システムへ



災害時の支援

災害発生と同時に災害発生状況とあわせて、
支援情報を提供

簡易図形



地震発生、通行止です
後方を確認し
ハザードランプをつけ
ゆっくり左側に
停車してください

経路情報を活用したサービス^{※2} (導入予定)

- 渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇する措置
- 商用車の運行管理支援などのサービスを今後展開する予定

※2 このサービスをご利用いただくためには、再セットアップが必要です。

広がる民間サービス

今後も順次新たなサービス追加を検討

- 民間駐車場決済^{※3}
- ドライブスルー決済など

※3 サービス実施中

駐車場決済イメージ





双方向通信

道路



全国の
高速道路上に
設置済み

道路に設置されたアンテナ「ITSスポット」を通過したときに、双方向通信でサービス情報が提供されます。

クルマ



ETC2.0
対応車載器^{※4}



ETC2.0
対応カーナビ^{※4}

※4 これまでの「ITSスポット対応車載器・カーナビ」という呼称を今後は「ETC2.0対応車載器・カーナビ」と呼びます。

ETC2.0

世界最高水準の効率的な移動へ

「ETC2.0」では、道路側のアンテナであるITSスポットとの高速・大容量、双方向通信で、世界初の路車協調システムによる運転支援サービスを受けることができます。

また、交通が特定の時間や場所に集中するのを減らしたり、事故を未然に防いだり、道路の劣化を緩和することが可能となります。

その結果、限られた道路ネットワークでも、より効率的に、長期的に使える「賢い使い方」ができるようになります。



●はITSスポット
設置場所

全国
約 1,600カ所

すでに全国の高速道路をカバー これから開通の高速道路にも設置

ITSスポットは全国の高速道路上に約1,600カ所設置完了済みです。今後、新しく開通する高速道路・有料道路にも設置します。^{※5}

※5 高速道路の電波ビーコン (2.4GHz) による道路交通情報は、平成34年3月31日でサービスを終了し、ITSスポット (5.8 GHz) による情報提供に移行します。